

芸北地域ビジョン2040策定委員会の状況

第1回 策定委員会

期 日：令和2年1月21日（火） 午後6時～
 会 場：北広島町役場芸北支所 大会議室
 出席者：策定委員 17名

1. 開会
2. 委員紹介
3. 芸北地域ビジョンの策定にあたって
 - >これから20年後の芸北を見据えて、20代から40代を中心に策定委員を構成する。
 - >委員会は「本音で話す。やってみよう。たのしもう。」を心がける。
 - >学校の有無が人口の増減に関連するデータがある。
 - >県内唯一の芸北分校の存在が大きい。
 - >教育に想いを持つ人が多く、芸北学園構想の土台がある。
 - >自然や文化体験、スポーツが盛んであることを活かす。
4. 閉会
 - >第2回策定委員会では、外部講師を招聘しビジョンの考え方、進め方、展開の視点を学ぶ。

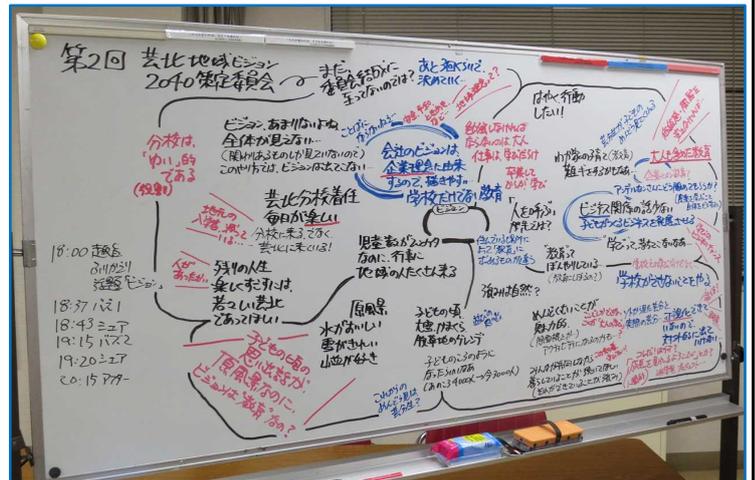
第2回 策定委員会

期 日：令和2年2月21日（金） 午後6時～
 会 場：北広島町役場芸北支所 大会議室
 出席者：講師 田坂逸朗 : 策定委員 11名



1. 開会
2. 芸北地域ビジョンの策定に向けて
 - >地域理念（ミッション）
 =最終目標（絶対変わらない）+情熱（パッション）が不可欠
 - >ビジョン（当面向すべき姿）
 大人も子どもも教える幸せを実感しながら、芸北全体が学び舎となる
 - >戦略としての教育
 学校教育、教育の地域化、余生教育、教育のビジネス化
 - >アクション（早く行動に繋げる）
 分校可視化プロジェクト、ここでしかできない大人の学びプロジェクト、大人なのに子ども遊びプロジェクト

3. 閉会
 - >第3回策定委員会では、ビジョンの策定方法など改めて協議する。



第3回 策定委員会

期 日：令和4年5月24日（火） 午後7時～

会 場：北広島町役場芸北支所 大会議室

出席者：策定委員 10名

1. 開会

2. 芸北地域ビジョン（案）について

- ▶ 未来像が見える地域ビジョンができた。これからは本番であり、これから地域の方が本気で取り組んでもらえるようになればいい。
- ▶ 今後、行政がどう関わっていくのか。地域と協働し連携するスタンスが必要である。
- ▶ この地域ビジョンをどう動かしていくのか。具体的なロードマップが必要ではないか。
- ▶ 地域を好きにならないと、地域外へ出てしまう。地域を知る学習を進めていきたい。
- ▶ 策定された地域ビジョンはどんどん出していくべき。いろいろな意見が出てくると思うが、その意見が宝となる。
- ▶ 地域の活性化のために活動しながら、みんなの声を拾い話し合っていきたい。

3. その他

- ▶ 今後の流れについて
芸北地域振興協議会委員会において承認し、芸北地域内外に周知する。

4. 閉会

芸北地域ビジョン2040策定委員ヒアリングの状況 （4会場）

■ヒアリング資料

- ・ 芸北地域ビジョン「学びの郷」の策定イメージ
- ・ 芸北未来会議で出された意見（第1回～3回）

期 日：令和3年2月12日（金） 午後6時30分～

会 場：北広島町芸北B&G海洋センター ミーティングルーム

策定委員：4名

現 状

- ▶ 令和3年度から公立保育園が廃園となる。
- ▶ 芸北は、子育てがしやすい。
- ▶ 芸中では、生徒数の減少と働き方改革の中でクラブ活動ができない。

課題・問題点

- ▶ 公立保育園を無くす必要があるのか。
- ▶ 私立保育園と連携が可能なのか。安全な保育ができるのか。
- ▶ 働き場所が無いなかで、教育の話ができるのか。
- ▶ スポーツのまちづくりが何に繋がるのか。
- ▶ 中学校の部活動では、保護者が講師となれないか。
- ▶ 定住には、お試し住宅など住居が必要。

期 日：令和3年2月25日（木） 午後5時～

会 場：北広島町役場芸北支所 会議室

策定委員：4名

現 状

- ▶ 芸北学園構想の取り組み
保育園との連携においても児童の成長に繋がっている。

課題・問題点

- ▶ 芸北の良さを分かってもらい、芸北に残りたくなるような指導をしたい。
中学校では、部活動の実施と登下校の見守り（熊等

<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中学校との合同行事としてクロカン遠足、合同清掃、合同部活、ゼロ学期への取り組みなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶)に困っている。 ▶ 指導要領の改定により総合的な学習の時間が無くなれば、芸北独自の取り組みが難しくなる可能性もある。 ▶ 町外の生徒が芸北で育つ。構想の中で魅力化につなげたい。 ▶ ビジョンの中で定住を記述したい。
--	---

<p>期 日：令和3年3月17日（水） 会 場：アンデルセン研修所 策定委員：2名</p>	<p>午後3時～</p>
---	--------------

現 状	課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 教育というコンテンツをお金に換えている。（視察、特産販売、修学旅行、子プロなど） ▶ 敬老会で高校生と対話する取り組みが行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ せどやま、茅プロなどをビジネスに繋げるには行政の支援が必要。 ▶ 芸分生徒との直接交流やアンケートを実施してはどうか。 ▶ 伝わる文化や伝統を高齢者から聞き書きをする必要がある。 ▶ 教育のために移住を決めるにはハードルが高い。 ▶ 芸北に興味を持っていただくようアピール。（SNS、動画等の利用） ▶ 働いてみたい場所として、オークガーデンの成長が必要。 ▶ 振興協議会でHPを立ち上げ情報発信をしては。（行政のHPは使いづらい。）

<p>期 日：令和3年3月26日（金） 会 場：北広島町役場芸北支所 会議室 策定委員：4名</p>	<p>午後7時～</p>
--	--------------

現 状	課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去には、農業を手伝うための学校の休みがあった。 ▶ 草刈りをしたい都市部の人も多い。 ▶ 伝統文化は、先ず自分たちが学んでいないと後世に伝えることはできない。 ▶ 地域では、外様感を感じることもある。 ▶ 芸北に残れと言わない親が多い。 ▶ 芸北にも空き家は沢山あるが、手放す人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 伝統も大切だが、当たり前な事を学びたい。 ▶ 行政の声掛けで計画しても実施するのは団体で、となる。 ▶ 地域外から芸分に入學した生徒を地域に繋ぎとめることはできないか。 ▶ 芸分に、eスポーツ部を作ってはどうか。 ▶ 芸北は、ワーケーションの適地である。 ▶ 尖った事をどんどんやって欲しい。（ドローンの林間レース場など） ▶ 一か所だけ、オシャレな家を作ってアピールしては。 ▶ 芸分に「芸分チャンネル」を立ち上げればおもしろい。 ▶ 空き家の修繕を芸分の生徒と一緒に行っては。 ▶ 公共施設で茅葺きの建物があってもよい。（茅プロ成果の可視化）

芸北地域ビジョン（案）策定に係る意見集約

集約：令和3年12月28日（火）

■芸北地域ビジョン「学びの郷」の策定イメージについて

- 強みは、「学び」を軸とした、人づくりやまちづくりの目標設定が一番だと感じる。学びと言っても大人の「学び」をある程度中心に考えることが必要。

■芸北地域ビジョン名について

- 構想よりプランの方が分かりやすい。
- レイアウト的に「地域ビジョン」「未来につなげる」が小さくなっている。どこまでがビジョンの名前か分かりにくい。
- 「芸北地域ビジョン」が副題、それ以外は地域ビジョンそのものの名称、となるように少なくとも2要素で付けた方がよい。
- 「ビジョン」という単語の中に「未来」が含まれているので、「未来につなげる」は不要ではないか。「学びの郷」では、地域のイメージが掴めないと思う。
- 「学び」は、どんなところにもある、大事なものは「学び」を通じて「どんな地域にしたいのか」ということが分かるような名前がよいのではないか。
- 例えば「学びを通じた〇〇の郷づくり」のような感じ。（「〇〇の郷」は「〇〇は郷」でも可）。例えば「持続可能な郷」とか「文化と自然が未来に繋がる郷」など。まとめると、次のイメージ。
芸北地域ビジョン 学びを通じた〇〇の郷づくり構想

■地域ビジョンの策定にあたって

- 「芸北地域出身者、都市住民の幅広い応援」とあるが、その方法は。
- 「福祉」の視点での委員さんがほしかった。
- 一気に「学び」としているが、「学び・ビジョン」ではなく「地域ビジョン」なので地域特性を丁寧に書くべき。
「それらを支え、持続していくために学びに重点を置いた」という文脈で整理すべき。
- 「芸北学園構想」は、文章化されていないのでは。
- 「地域の方々」より「地域住民」が先生とした方がよい。
- 「学び」の定義では、「学ぶ」のは誰なのか。
- 全体を通じて、児童・生徒が学び、地域が教える。という文脈に読み取れる。
最近では、一方的な「教える」「学ぶ」ではなく、双方向的な「学び合い」である。

■芸北教育の現状と課題

- 芸北地域ビジョンなので、「芸北教育の現状と課題」ではなく「芸北地域の現状と課題」とすべき。
- 地域の人口、産業、気候など、一般的な特性を、まず書くべき。
- 実際に行われている活動に対して、記載されている事例が少ない。
- 地域ビジョンなので、見出しを「芸北教育のこれまでの取り組みと課題」から「これまでの取り組みと課題」とすべき。
- 教育以外の点に関しても、ヒアリング等で出た意見を書き込むべき。
- 手段については、議論を踏まえたうえでビジョン「実施計画」に書き込むべき。
- 「変える」を「支える」にすべき。一方的な書き方にならないように。
- 児童・生徒の責任は書かれているが、それ以外の責任が書かれていない。
- 未来会議の内容を反映させることは「地域の課題」ではない。
- FTTHは現状である。
- 芸北ポータルサイトを作成してはどうか。芸北地域のネット配信についても記述してほしい。

■地域づくりの理念

- 「人」でつくるを「人」がつくるにすべき。
- 「策定のこだわり」では教育に言及せず、ここで初めて「教育」や「人づくり」を記述する。
- 「持続可能な社会を作る人材を、芸北地域で育てる」のように、「学び」がどんな人材を育てるのか、に言及する。

■基本的な取り組み方針

- ▶ 未来会議（ワールドカフェ）を続けるのか。
未来会議は、出会い、交流というより共有や議論の場であってほしい。
- ▶ コロナが収束した後は、農業体験会や神楽鑑賞会など、町主催で楽しめるイベントを行ってほしい。
- ▶ 芸北分校を核にするというよりは、定住者（移住者）の選択肢の一つと考えるべき。
まずは、住める場所、宅地の整備、仕事の斡旋などが必要。

■その他

- ▶ 推進体制の図が分かりにくい。
地域づくりが一番上で、そのための手段が人づくりと学びではないか。
- ▶ 周知の方法は、紙媒体と電子媒体の両方を準備してほしい。
- ▶ 地域協議会でも、ホームページやブログなどにより情報発信をしてほしい。
- ▶ SDGs が唐突に出ているのは意味がわからない。
- ▶ 構想では20年後とうたっているが、20年後の姿が見えない。
- ▶ 「地域」の現状や課題を整理し、そのうえで「学びを通じた地域づくり」を推進する。という軸に沿って策定する必要がある。